

ホームと家族を結ぶ

おとすれ 147号

社会福祉法人 任運社 特別養護老人ホーム 任運荘

〒879-6601 大分県豊後大野市緒方町馬場 796 番地 1

事務室：0974(42)2338 寮母室：0974(42)3322

任運社総合相談支援センター 0974(42)4211

任運荘ホームヘルパーステーション 0974(42)3351

※ 任運社内では介護職を『寮母』と呼びます

F A X：0974(42)4187

E-mail：info@ninun.or.jp 編集・製版・発行

<http://ninun.or.jp>

任運荘広報委員会

平成28年度 任運社 入社式

4月1日(金)、社会

福祉法人任運社の入社式がデイサービスセンターなどごみ塾のホールで行われました。

新たに8名が任運社職員として採用され、左記のとおり配属となりました。

【任運荘】

寮母職

工藤 浩子

看護職

馬場由希子
野脇 美香

【騰々舎】

寮母職

佐藤 亭

看護職

穴見 和枝
首藤 鈴子

【厨房】

調理員

平林 信子

【リネン関係】

持田 洋子

入社式挨拶

任運社理事長 廣本賢郎

任運社役員127名を代表して、新しく任運社の仲間となる8名の新職員に心より歓迎の意を表します。

今、福祉界では職員の離職・退職が非常に多く、求人難の状況です。そのような時期この任運社を選択して



平成28年度 新入社の職員の方々です。



歓迎の挨拶を述べる廣本理事長

いただきありがとうございます。その選択が間違いないかと思えるよう、我々迎える側は努力します。そしてそれに答える皆さんの「やる気」が我々の大きなエネルギーとなります。一緒に頑張りましょう。

また先輩10名が異動します。新しいポジションでは人以上に苦勞とプレッシャーが待っています。その先輩たちも皆さんと同じ気持ちで目標達成に努力します。その目標とは「利用者本位」です。任運社の存在意義はこの一点につきまします。任運社役員一同、初心を今一度思いしめて新しい方々への歓迎の挨拶とします。

利用者 歓迎挨拶

任運荘 古庄ヨシコ氏

入社された方、おめでとうございませう。これからは、自信を持って頑張ってください。

そして、これから先は私たちの事をよろしくお願い致します。



歓迎の挨拶をする任運荘利用者を代表して古庄ヨシコさん

騰々舎 甲斐 修氏

一日も早く職場に慣れて色々なことを学んでください。そして、新しい発想と感性を次の機会に繋いでくれることを期待します。

私たちも皆さんと共に成長していきたいと思ひます。

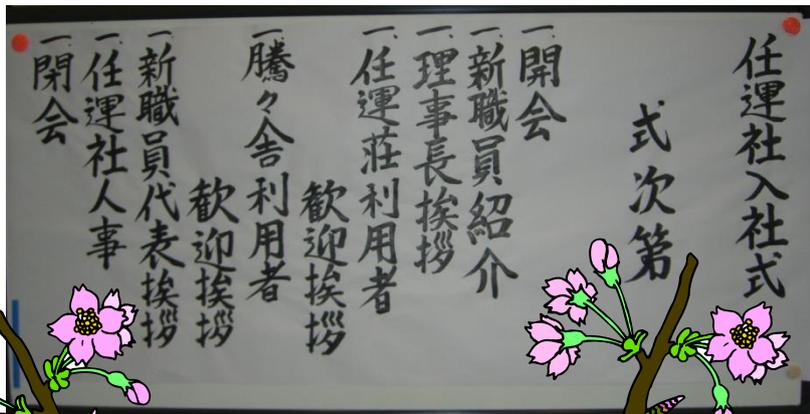


騰々舎利用者代表の甲斐修さん

新人職員代表挨拶

騰々舎寮母 佐藤 亭

任運荘の一員として働くことをこの上ない光栄に思ひます。伝統ある任運荘の理念を心にとどめ、皆様に信頼され、愛される職員の一人になれるよう日々精進いたします。



任運荘入社式

式次第

一開会

一新職員紹介

一理事長挨拶

一任運荘利用者 歓迎挨拶

一騰々舎利用者 歓迎挨拶

一新職員代表挨拶

一任運荘人事

一閉会

続いて4月1日付、人事異動が発表されました。任運荘の関係者は次のとおりです。

【任運荘】

廣本 賢郎

【任運荘総合施設長】

藤本いつ子

【任運荘施設長】

吉野 明子

【任運荘副施設長】

須藤けさ代

【任運荘寮母主任】

佐藤 里香

【任運荘寮母副主任】

【任運荘へ】

三谷 弘子 【寮母職】

深田 康子 【寮母職】

工藤 和幸 【相談員】

【任運荘より】

羽田野一彦

【なごみ塾所長】

清水美智子

【総合相談支援センター・ケアマネ】

就任の挨拶

任運荘施設長 藤本いつ子

任運荘開所時から、情熱を注ぎ込まれていた廣本施設長が任運荘総施設長に就任され、その後任として任運荘施設長を拝命いたしました。任運荘舵取り役の重責に戸惑いと不安でいっぱいですが、しかし、任運荘の基本理念であります「利用者本位」を継承すべく、現場のサポート役に徹し、職員一丸となって、利用者の皆さんが安心して生活できる様、努力する事をお誓いし就任の挨拶とします。宜しくお願いいたします。

人事異動の挨拶

なごみ塾所長 羽田野一彦

なごみ塾では開所時から11年間、任運荘では12年間お世話になりました。そしてこの度、再びなごみ塾の勤務を拝命いたしました。初代所長の橋本祐輔氏、2代目工藤和幸氏の理念を引き継ぎ、利用者やご家族の皆さんに喜ばれる施設を築いていければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

お花見会

鮮やかな踊りにうっとり



4月5日(火) 10時より「お花見会」が任運荘ホールで開催されました。緒方町の舞踊団体『桑の実会』(会主・留高房子様)の皆さんが来荘し、華麗な舞踊を披露していただきました。

「今日は、お花見にふさわしい舞踊を準備してまいりました。皆様、どうぞお楽しみ下さい」と最初にご挨拶をいただきました。利用者の皆さんは、わくわくして待っていました。踊っていただいた曲は次の9曲です。

- 一、広島木遣音頭
- 二、古城
- 三、浪花節だよ人生は
- 四、彦齊無情
- 五、お座敷小唄
- 六、六文銭
- 七、ドンパン節
- 八、皆の衆
- 九、炭坑節

花笠を優雅に使った踊りや美しいしなりと、色気を感じるまなざしにうっとりとする利用者の皆さん。



歓会主:留高様の挨拶です

また、地域の方も来荘されホールで一緒に楽しみました。炭坑節では職員も一緒に踊りました。手や足を動かして楽しむ方もいました。

利用者を代表して、吉野秀子さんが、「とても楽しめました。ありがとうございます」とお礼の挨拶をしました。

吉野副施設長が「皆さんとても綺麗にされて、私も見習いたい気持ちです。今日は地域の皆様もいらしていただき賑やかにできました。満開の桜の日にふさわしい



華麗な踊りに見入る利用者の皆さん



お花見弁当をおいしそうに食べられる板井タキ子さん



歓厨房手作りのお花見弁当です

1日となりました。有難うございました」と挨拶しました。時折、中庭の桜の花が風に舞い、美しいお花見会となりました。桑の実会の皆様、有難うございました。

優雅な舞踊の後は、厨房手作りの美味しいお花見弁当が出ました。巻きずしや煮付け、寒天など懐かしいメニューが入っており、利用者の中には「若いころよく作ったなあ」と会話しながら食べられています。

担当/森 園美

お花祭

4月8日は、お釈迦様の誕生を祝う『お花祭』です。寮母室前で椿などの色とりどりの花に飾られた花御堂の中に甘茶を入れ、お釈迦様像に柄杓で甘茶をかけて誕生を祝いました。

当日は任運荘の利用者だけでなく、騰々舎やなごみ塾の利用者もお参りに訪れ、昔を懐かしんでいました。



お釈迦様の像に手を合わせる長門長喜さん(右)と甘茶をお釈迦様に掛ける百五歳の佐藤亀代さん



第7回 ふれあい交流会

3月28日(月)、愛媛県八幡浜市と三崎町より中学生が来荘し、恒例行事となった『ふれあい交流会』が行われました。来荘していただいたのは三校の中学生44名と引率の先生5名、お世話して下さる藤原さん(大分県国東市)を含め50名の方々です。

- ・ 八中いのちを伝え隊【八代中学校】
- ・ 保中のちつなぎ隊【保内中学校】
- ・ 三中しあわせ運び隊【三崎中学校】
- ・ 先生も手伝い隊 【引率の先生方】

今年、7回目の「ふれあい交流会」となりました。当日は利用者と職員はなごみ塾のホールに集まり、「今年もあの先生が来るかな・・・」と皆さんが到着するのを楽しみにしていました。

到着するとすぐに「春が来た」を全員で歌い、それぞれの学校紹介がありました。

利用者の皆さんは言葉の一つひとつに耳を傾けていました。「上を向いて歩こう」「幸せなら手をたたこう」を合唱し、「ふるさと」では手話を交えて全員で歌い、なごみ塾のホールは笑顔で一杯になりました。

お話しタイムでは、一人ひとりが利用者に寄り添い、自己紹介を行いながら和やかな空



中学生と歌を歌う引田民子さん(左)と志賀フキエさん(右)



お話しをする小野春子さん(左)と中学生(右)



渡邊ツネコさん(左写真)と阿南公子さん(上写真)と中学生(右)



岡野マチヨさん(右)

笑顔の甲斐喜代子さん(右)先生とお話しをする後藤タケさん(写真上)

歌を歌う左から衛藤文子さん、衛藤キヨさん、柴田フサ子さん

気で一杯でした。先生もお話しタイムに重点を置き、ふれ合うことの大切さを学ぶ機会にしています。

中学生とお話しをする利用者は、笑顔で、「たくさん勉強しなさいよ」「お父さんやお母さんの言うことを聞くんですよ」と握手をし、涙ぐむ利用者もいました。生徒方も「いつまでもお元気で長生きしてください」と声を掛けていました。

1時間半ほどの会でしたが、皆さんの笑顔に私たちが胸が一杯になりました。

最後に廣本理事長が中学生に、「最初に『福祉の心について勉強にきました』と挨拶がありました。教壇の上に立つだけでなく、こうして走り回り、行動を共にする一生懸命な先生の姿を見て学んでいる皆さんの将来は、人の気持ちを思いやる立派な福祉の心を持つことができると思います」とお礼の挨拶をしました。

利用者の皆さんは、帰路のバスに乗り込む中学生や先生に手を振りながら「また来年も来てください」と見送りました。遠路来荘していただき本当にありがとうございました。

つぶやき

引田 民子さん

「あんなあ、わたしは昨日困ったんじや」と言うので、どうしたのか聞くと、

「向こうに座っちよる ばあさんから、あんだ、嫁さんはおらんのかな？ ち聞かれたんよ、どくでん私んことをじいさんと思ったんじやろうなあ・・」と複雑な笑顔だった。

森ハルミさん

ひ孫さんが、名前を書いて見せると、「ほう、うまく書けちよるなあ」とほめていた。

波多野キスさん

「職員さん、今日はどこかに連れち行かんのか？」と言うので、「どこに行きたいですか」と聞くと、「そげえ言われたら、ぽっと出ちこんなあ」と笑い、困っていた。

甲斐不二子さん

いつも「すいません すいません」と言われるので、「すいませんがなくなりますよ」と言うのと、「そうなのうなったら困るな」と笑っていた。

五嶋ナルコさん

食事の際に、スプーンが膝の上ののっていたので、「新しいものに換えましょう」と言うのと、

「どーしちこに飛び降りたんじやろうか？」と言う。

後藤 タケさん

毎週 日曜日に来る息子さんの面会を楽しみにしている後藤さん。

「息子とはそう話すことはないけど顔を見るだけでいいんよ」と、しんみり。



古庄 信子さん

食事の時、向かいの渡辺光子さんを見て「あつ、河野光子さん」と言うので、「あの方は渡辺さんですよ」と言うが、何回も渡辺さんと言うので調べると、渡辺さんの旧姓は河野さんで、女学校時代の同級生でした。七十年以上も昔のことなのにすごいですね。

板井タキコさん

「あんたは、お母さんがおるんな？」と聞かれたので「家で畑をしています」と言うのと、

「帰ったらありがとうち言いなあえ」と言われる。「しばらく言っていないので、今日は言いますね」と約束した。

清水シズ子さん

ある日の息子さんとの会話
シズ子さん・「墓ん守はしようなあ？」
息子さん・「心配せんでも、ちゃんややってるぞ」

シズ子・「そんなら良かった」

なんだか、こちらもほっとしました。

古澤マチコさん

「ちよつと、きちみなあ」と呼ばれたので行くのと、

「おまやあく、どうしち そげえ肥えたんなあ」と言う。古澤さんよく見えますね。

渡辺ツネコさん

60歳近くの寮母さんに「あんだ若えじ、美しくしちよるな」と喜ばせてくれる。

お知らせ

第41回 社会福祉法人 任運社 五月祭 ご案内

開催日：5月8日 (日) 【雨天決行です】

会場：デイサービスセンターなごみ塾 ホール

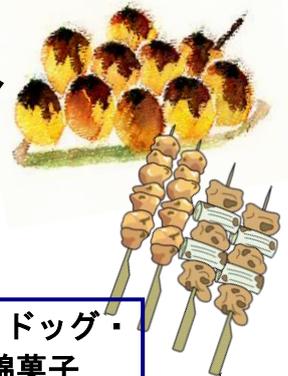
●作品展示：任運荘談話室・騰々舎ホール・なごみ塾食堂

●アドラクション：10時30分～11時30分

①子ども神楽 ②子ども太鼓 ③エイサーの演舞

★プログラムは変更する場合があります。

●模擬店：11時30分～14時頃（閉店）まで



ビーフカレー・焼きそば・うどん・豚串・唐揚げ・たこ焼き・ホットドッグ・フライドポテト・レタス巻き・いなり・コロケ・餃子・かき氷・綿菓子
ジュース・喫茶コーナーではコーヒー・ケーキの販売を予定しています。

お待ちしております！

※ 駐車場は、下側のグランド横をご利用下さい。



消防署職員による消火器の説明

3月22日、10時30分～11時30分の間、豊後大野市消防署立会／指導の下(6名)、『避難訓練』と『消火器取扱い訓練』を実施しました。避難場所は玄関前駐車場に設定しました。避難訓練は防災訓練マニュアルに沿って実施され、消火訓練は消防署の指導で水消火器を使用して行われました。

総合防災訓練の実施

【2016年5月】

- 8日(日) 任運社**五月祭**
- 12日(木) 喫茶
- 18日(水) サービス相談委員会
- 19日(木) 任運大学
- 26日(木) 利用者・職員対話会
任運社運営会議
- 29日(日) 誕生会

任運荘は無事です！

4月21日現在、任運荘は無事です。熊本・大分地震で毎日揺れています。被害も無く利用者も落ち着かれています。隣県阿蘇市の障がい者施設より、「カップラーメンの水が無い！」と、水の要請があり、4月16日の夕方、飲料水400ℓを職員二人で届けました。想像以上の苦勞をしています。「同情より行動」を実感しました。【廣

◆現在、余震を時々感じながらこの編集後記を打っています。4月14日の震度7の地震以来、震度1以上の地震が現在まで700回以上と、◆15日の勤務後に熊本市内の大学に入学したばかりの子どもと同級生を車で迎えに行くときに熊本市を出発して、21時過ぎに無事に自宅に到着。◆その2時間半後の16日1時25分の地震(これも震度7)で、帰路で通った立野の57号線、そしてJR豊肥線、阿蘇大橋が土砂崩れにより大崩落。◆その映像を観た時は体が震えました。熊本市の損壊や阿蘇神社の倒壊等、ショックを受ける事ばかりです。◆お亡くなりになられた方々にお悔やみと被災された多くの方々にお見舞い申し上げます。地震が早く終息することを願うばかりです。◆今号の四七号は新広報委員長のK相談員が中心に作成されました。太郎専門のK相談員は、ミヨベ一士の『おとずれ』の編集に大変苦勞したようです。読者の皆様、今後ともよろしくお願い致します。

広報委員のひとり言

